

外部評価委員会結果記録書

令和 2 年 3 月 1 2 日作成

<p>評価年月日</p>	<p>令和 2 年 2 月 2 8 日 (金)</p>
<p>評価の概要</p>	<p>1 令和元年度上半期の取組結果について 冷夏・災害対応業務の反動に加え削減努力が実り、電力使用量等は前年度に比べて全庁的に使用量が減少した。今後は気候や業務増等の他責要因を除いて、努力に対する削減効果の分析をされたい。 さらに削減を進めるためには、職員の削減意識を如何に高揚させていくかが最も重要である。 PDCAのサイクルをうまく回し、そのプロセスを管理していただきたい。 環境マネジメントシステムは、経営システムと整合させ組み込んでいくべきである。</p> <p>2 令和元年度事務局監査について 優良事例について、出先事務所での事例であり適用できる所属が限定される等の説明を加えた上で、周知していただきたい。 要検討事項については、該当の事務を所掌する所属に、個別に事例紹介をすることも検討していただきたい。</p> <p>EMSの運用にあたっては、数字にとらわれすぎて、業務が萎縮してしまうことがないように、全体のバランスを見ながら、目標達成に向けて効果を上げていただきたい。 また災害や気候の変動などいかなる状況の中にあっても、常に削減意識を持ち、努力していただきたい。</p>